

カバン・制服などの購入支援
新入生の入学準備金 入学前に支給へ

八幡市12月議会で補正予算 共産党の追求みのもる

義務教育での制度として所得の低い世帯への支援として取り組まれている就学援助制度。その中の一つとして、小学校、中学校入学時に、ランドセルやカバン、制服の購入費として支給される新入学学用品費(入学準備金)があります。これまで八幡市では入学後の5月支給でしたが、3月初旬に支給される見通しとなりました。

議会質問、予算組み替えを重ね

全国の地方議会でも支給費の増額、入学前の支給を求める議論が深まり、文部科学省もそうした立場で通達を出しまし

た。八幡市では、日本共産党市議団が3月議会で取り上げたのをはじめ、予算組み替え動議を提出しました(他の会派が反対し否決)。さらに6月、9月の質問で改善を求め、8月、11月には市・教育委員会への要望を重ねてきました。

こうした改善要求にたいし、市は今年度に支給額を4万円台に引き上げたものの、支給時期については改善せず、「近隣の自治体の動向を注視する」立場にとどまっていた。しかし、12月議会で提出された補正予算案には3月に支給できるよう1635万円が計上されました。日本共産党市議団と市民のみなさんの運動で大きく前進しました。

休止中の
南ヶ丘浴場

改修後、12月22日営業へ
老朽化点検、施設の日常管理などに課題



閉鎖されたままの南ヶ丘浴場

老朽化で天井壁の部品が落下した9月末以降、営業を休止していた市営南ヶ丘公衆浴場は、改修費用700万円をかけて工事に着手し、12月22日から再開する見通しとなりました。

南ヶ丘浴場では2010年度に改修を行い、屋上防水、バリアフリー化などを進めましたが、今回落下事故があった天井壁については改修を見送っていました。その後、なぜ老朽化が発見できなかったのか、日常的な施設管理が適切に行われていたのかなど、原因究明、再発防止に向けての検討が必要です。